

【めざす生徒像】

- ◆ 進んで勉強する生徒
- ◆ 礼儀正しい生徒
- ◆ 明るくたくましい生徒
- ◆ 感謝の心で、残さず食べる生徒



# 細野中だより

第23号 H26.12.16  
発行者 甲斐昭晃  
☎ 23-3611

今年もあとわずか。授業は24日までです。ご家庭でも、大掃除など新年を迎える準備で忙しくなることでしょう。そんな時、お子様は頼りになりますか？

遊びに行ったらきり帰ってこない。ゲームに夢中、頼んでもしてくれないということがないといいですね。問題は3年生、「受験だから手伝いはいいよ、勉強頑張ってる」という「配慮」は、逆に「勉強しなければ」というプレッシャーを与えてしまいます。

家族の一員として、気分転換に、受験生も同じように家事の分担をお願いします。



## ◆ 沖縄への修学旅行 (12/7~9) ◆

旅行中、2年生の保護者にお届けした「中継メール」(文章と画像を教頭先生に送り、編集して送付)を再構成したものです。

**1日目** 7時、地区体に集合。出発式で実行委員長の富満秀斗くんが「心のおみやげを持って帰りましょう」と呼びかけました。

【鹿児島～那覇】約1時間半のフライト。飛行機が初めての生徒も多く、離陸の瞬間、「ワア～」とか「キャ～」という声が上がりましたが、後は静かに乗っていました。機内でお弁当。

【海洋公園】イルカショーを見た後、巨大水槽でジンベエザメが泳ぐ美(ちゅ)ら海水族館へ。最初のおみやげタイム。

【ホテル】ビーチで遊んだり貝殻を拾ったり…。夕日がとてもきれいでした。夕食はバイキング。みんなすごい食欲を發揮！



こんな部屋でした

**2日目** 6時30分起床。朝食をとり嘉手納基地へ。

【道の駅かでな】屋上から基地を眺め、その広さにびっくり。資料室もありました。

嘉手納基地

【おきなわワールド】三つの体験活動に分かれて参加しました。その後、迫力いっぱいのエイサーを鑑賞してバイキングの昼食と自由行動。



シーサー作り



シーサーに色付け

【班別自主研修】いったんホテルに行き、荷物を置いてから国際通りを2時間ほど散策。おみやげがいっけに増えました。夕食はボリュームたっぷりのステーキ。沖縄でよく食べられています。男子に肉を分けてあげる女子もいました。

ガマの説明

**3日目** 平和学習の日です。

【糸数アブチラガマ】自然の洞窟(ガマ)。戦争中、陸軍の司令部や病院として使われました。ガイドさんの案内で、ヘルメットをかぶり懐中電灯を持って中に入り、当時の過酷な状況を聞きました。隣にいる人の顔が判らないほどの暗闇も体験でき、出てきた時は全員無口になっていました。



【ひむかいの塔】宮崎県出身者2万9千3百余名の慰霊碑。ふるさとを想いながらこの地で亡くなった人々に黙禱を捧げ、全員で平和宣言を唱和しました。



【ひめゆりの塔・資料館】昼食はタコライスと沖縄そば、食べ物にも文化の違いを感じました。

ひめゆりの塔

資料館には、ひめゆり学徒隊を始め沖縄戦にまつわる様々な資料が展示されていました。元学徒隊の仲里正子様のお話も聴くことができ、戦争の悲惨さや無益さをあらためて痛感しました。体験を語り継がれている皆様方もご高齢になり、次の世代へと語り部を引き継ぐ準備をされているそうです。その為、当日は資料館の方が講演の様子を映像に記録していました。

【首里城公園】1時間ほどかけて見学。14世紀末の築城とされる城は、戦災で焼失後1992年に復元されました。国内11番目となる世界遺産です。いにしへの琉球王国にしばし思いを馳せていました。



首里城正殿

【空港での解散式～細野中】「もう1日沖縄にいたい人？」と聞くと、ほぼ全員が手を挙げました。修学旅行が楽しかったのか、それとも学校生活に戻りたくないのか…。とにかく、私たち引率者にとっても満足度の高い旅行になりました。

離陸が30分ほど遅れましたが、後は順調で、9時20分ごろ多くのご家庭の皆さんが待つ学校に着きました。お迎えありがとうございました。



## ◆ 性に関する授業(12/15・18) ◆

養護教諭(松ヶ野)と学担任が一緒に行います。

性教育は単に知識を身に付けるだけではなく、子どもたちの生き方にも関わる大切なものです。

今回の内容は…《1年》思春期からのからだの変化 《2年》男女の性差 《3年》性非行・性犯罪の防止 です。



## 服のチカラ・プロジェクト

～ 10月から現在まで ～



学校で集めたり、ポスターと回収箱を幼稚園に置かせてもらったりしました。その結果、去年の倍近くの子ども服が集まり、現在、サイズごとの仕分けをしています。もうすぐ発送します。ご協力ありがとうございました。

## ★ 自立登校のすすめ～10分間(600m)は歩かせましょう ★

(屋の放送で…) 東京近郊にある高尾山での話。ある母ザルはどんな時でも子どもを歩かせて餌場に連れて行きました。子ザルがころんでも絶対に背負いません。ところが、もう一匹の母親は子ザルを背負い、いつも一緒に行動していました。

1年が経ちました。背負われなかった子ザルは他の小さな猿たちと元気に遊びまわっています。ところが、いつもお母さんの背中にいた子ザルはというと…。いつまでもお母さんの背中から降りることができなかったそうです。「姑息(こそく)の愛」はいりません。

## 【お知らせ】 □ 全九州地域選抜大会西諸地区選考会

男子ソフトテニス部のメンバーが入賞しました。2年生です。

(優勝)井上寿朗くん・押領司祥くん (2位)信岡壘くん・下鶴惣真くん (3位)高佐直希くん・榎田悠佑くん **おめでとう!**

□ 宮原翔角くん(3年)がウエイトリフティング宮崎選手権大会に出場し、総合で133kgという好記録を残しました。

